

環境建設工学科講演会 H26年度留学報告会 & H27年度留学説明会

平成27年2月2日（月）、南加記念ホールで環境建設工学科より派遣した学生の国際活動報告会が行われました。

まず、2回生の4名(今井花奈、小根國裕美、志田尚人、榎本一成)が蔚山大学短期語学文化研修（3週間）に参加した内容を報告しました。オンギ体験や礼節学校など、韓国独自の体験、他大学との学生との交流をすることで、外国という壁の怖さは無くなったということです。

高雄第一科技大学に行った2名からは（3回生：嶋本ゆり、中川実咲）、語学に力を入れている大学の紹介と社会デザインコースの学生は単位の面で留学に行きやすいと報告がありました。ただ、もっと中国語を勉強していけば良かったという反省点もあったようです。



高雄大学に留学した2名（3回生：入川裕太、武田宏輝）は、25学科ある大きな大学であるという紹介と、英語のみで受けることが出来る授業を選択し、3回生の授業の前期のような実験の授業が多かったと報告がありました。二人はサークル活動にも積極的に参加し、英語だけでなく中国語なども学ぶことが出来たようです。

蔚山大学に留学した2名（井出博一、隅田和樹）は、専門科目講義を受講し、単位互換性のある授業を選択し、自分たちでPPT作り発表することが出来たと報告がありました。授業外でも食事など、現地学生やその他の国からの留学生と共にすることで英語のみでなく韓国語で自己紹介ぐらいはできるようになったと報告がありました。



その他、大学院理工学研究科「海外留学支援・短期受入プログラム」に参加したインドネシアのガジャマダ大学とバンドン工科大学への短期交流学生（修士1回生：足立望美、前田健太）から、1ヶ月間の夏期交換留学に関する報告がありました。



全般に留学した学生からは、コミュニケーション力のアップと英語力のアップが確実にあり、良い人生経験になったこと目を輝かせて報告していました。愛媛大学環境建設工学科ではH27年度も同様のプログラムを実施予定です。学生の皆さんは積極的に参加して、国際感覚を涵養しましょう！

